

荒川登山口

荒川登山口から続く道は、島内の新しい登山道の 1 つで、古い縄文杉へと通じています。材木を運ぶトロック軌道として約 90 年前に作られました。最初の軌道が完成してわずか 1 年で、軌道の近くに小杉谷集落ができました。26 キロに渡る長い登山道は最後は小杉谷と、当時は屋久島の主要な陸揚げ港であった安房がある、近くの石塚村をつないでいます。

小杉谷は、戦後数十年間栄え、1960 年には人口が 540 人でした。1970 年に伐採事務所が閉鎖され、現在、村は閉鎖されています。縄文杉ルート沿いでは、古い小学校など、開拓地の跡を今なお見ることができます。現在では、この軌道が物資や備品の輸送に使われるのはごくまれです。屋久杉自然館に止まるバスだと、約 35 分で荒川登山口へ行けます。4～5 時間で島で最も大切にされている屋久杉である縄文杉に到着します。